

エコロジー緩衝材

環境にやさしい、ちょっとお得な商品紹介

環境と緩衝材

プラスチック緩衝材で最もポピュラーなものは、発泡スチロールです。機能的に優れ、低コストで加工しやすい包装材料として使い勝手がよく、かつては様々な製品の包装に広く利用されていました。しかし、ダイオキシンの発生や地球環境保護の高まりで、石油化学製品への風当たりが強くなり、人気がなくなってしまいました。



【発泡スチロール】

環境配慮型商品へ

そこで発泡スチロールに代わる商品として、コンスターチとポリ乳酸を使用したものを中心に、「土の中で分解される緩衝材」が開発されました。発売当初は価格が高い事を理由に、採用例は少なかったのですが、最近ではバラ緩衝材を中心に利用されるケースが増えています。成型品も製造可能になっていますが、採用事例はまだ少ないようです。



【バラ緩衝材】

リサイクル素材

環境問題がクローズアップされる前から、端材をリサイクルしたプラスチック緩衝材があったことを皆さんはご存知でしょうか？再利用することで生まれた包装材を紹介します。

- ポリモック -

生活雑貨などに使用されるポリエチレンフォームは製造時に、周囲にパンの耳のような部分ができます。これは、端材として工場出荷時に処分されていました。この端材を砕いて熱融着して製造します。

- ① 軽量で丈夫なので、トランス、大型モーター、板金部品などの重量品、中重量品の緩衝材として最適
- ② 科学的に安定しているポリエチレンなので、耐候性、耐薬性に優れている
- ③ ハニカム状の独立気泡体で、吸水性がなく、断熱効果が高い



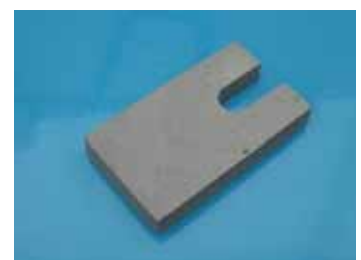
【ポリモック】

- エコベルカ -

再生原料化がむずかしいとされていた架橋ポリエチレン発泡体の加工端材を再原料化し、エコロジー商品として開発しました。

- ① 再生樹脂を50%以上加えCO₂排出量を削減
- ② 発泡倍率の異なる商品の製造が可能
- ③ スライス加工や抜き加工が可能
- ④ 発泡倍率が低く、硬いプラスチック緩衝材としてコストパフォーマンスに優れている

両商品ともJEAのエコマーク使用の認定商品で、これからの環境負荷の少ない持続可能な社会への貢献が期待される商品です。



【エコベルカ】